

障害当事者ら制作の防災ラジオドラマ

シナリオをマンガ化

とア 連と 障連 と 豊さくらピア

豊橋障害者（児）団体連合協議会（豊障連）と市障害者福祉会館「さくらピア」が進めてきた、障害当事者や近隣住民らが制作した「防災ラジオドラマ」のシナリオをマンガ化した、「防災ラジオドラマ マンガ編」障害者が避難所に来たら」が完成。24、25日に行う「さくらピア避難所体験」参加者に配布される。

（田中博子）

マンガ化したのは、昨年9月の「避難所体験」で、参加した障害当事者やボランティア、行政関係者、近隣住民ら61人が一緒に制作した防災ラジオドラマのシナリオ。豊橋に震度6の大地震が起きたら、行政関係者が止まった想定で、避難所に身体や聴覚、知的、視覚、車イス利用など障害のある人を含めた地域住民が避難所主催「第5回防災ラジオドラマコンテスト」脚本部門で最

優秀賞に輝いたほか、同シナリオを音声化したCDは翌年の同コンテストで特別賞「作品活用賞」も受賞した。

音が一過性であること、聴覚障害の話が扱えなかったこともあり、幅広い層の市民に知ってもらいたいとマンガ化を考えていたところ、ボランティアから市内在住のマンガ家を志望する後藤加菜さん(23)を紹介され、制作を依頼した。後藤さんは市内のスーパーに勤務。仕

事後や休日に作業し、透明水彩絵の具を使ってオールカラーで仕上げた。「自分もシナリオを読んでも知ったことが多かった」と後藤さん。

「困った際にした方が良いこと、してはいけないことがよく分かるような気をつけて描いた。話をまとめるのに苦労したが、今後も依頼があれば協力したい」と話す。原稿を見た障害者からも「分かる

りやすい」と好評で、特に聴覚障害者らに喜ばれたという。マンガはA4判、31頁で3000部発刊。避難所体験参加者に配るほか、市内の学校・市民館などに閲覧用に進呈し、市内医療機関や飲食店などにも声を掛ける予定。一般希望者には豊障連が1冊100円で販売も。問い合わせはさくらピア(05332・53・3153)へ。

完成した防災ラジオドラマのマンガ編

